

市の現状に即した総合計画を

一民間団体の活動に
税金投入はあり得ない！



石井聰美議員



熱中症対策に
電動アシスト自転車を

総合計画に危機感が足りない

石井

夏の登下校中に熱中症になる事故を起さないために、登下校に電動アシスト自転車を使うことは可能なのか。

教育長 保護者からの要望があれば、電動アシスト自転車を使用する」とは認めている。

市内のHP作成で産業育成を

石井 備中松山城など市内の観光地にはオフィシャルサイトがない。そういう仕事を市内のデザイナーに発注することで、産業育成につなげるべきではないか。

産業経済部長 発注者と市内デザイナーをつなぐ工夫をしたい。

石井 今後、後期計画を策定する

際に、現在のような総花的計画ではなく、現状に即した真剣味のある計画をたてるべき。市民とも話し合いの場を持つべきでは。

総務部長 市民に納得感を得ていただけるような計画見直しのプロセスが必要。対応していきたい。

マイナンバーカードの問題点

石部 マイナンバーカード取得を事実上強制し、保険証廃止とマイナンバーカードの連携を一本化することで、無保険状態が発生したり、介護支援が必要な方・障害を持つ方の力での取得が困難となっている。現行の保険証を残すことが、最も簡素な解決方法と考えるが。

市長 高梁市の業務で問題や間違は起きていらない。資格確認書は職権交付になるので、確実に必要な保険診療が受けられる。

新型コロナ感染者の困難

石部 新型コロナウイルス感染症は2類から5類へと制度上移行されて以降も、感染者は減らないが、感染者や病院・福祉関係の事業所支援はどうなるのか。

健康福祉部長 市内の感染者数は把握できないが、感染状況の傾向やワクチン接種の状況などの情報交換を関係機関としている。

石部 ベビーファースト宣言事業（法人税納付）への水道料金減免は、一民間団体の思想運動に市が関わり税金投入する問題。儲かっている事業者よりも納税したくてもできない事業者へ支援をすべきではないか。

土木部長 ベビーファースト宣言は高梁市も賛同している。運動に賛同した法人税の納税事業者に対し、水道料金の基本料金を最大6ヶ月分減免することは、子育て支援の啓発、経済の支援も図れる。

石部誠議員



捕獲おりを増やして
イノシシ被害減少につなげよ



倉野嗣雄議員

猛暑対策について

森 消防団の積載車に工アコンを装備すべきではないか。

消防長 今後整備していく消防団車両には工アコンは標準装備としてはいる。既存の車両については、設置に伴う車両への不具合などを調査して後付けの工アコンを早急に検討していく。

鳥獣被害対策について

森 捕獲おりの数を増やすために、補助制度を見直せないか。

市長 現在、市鳥獣被害防止対策協議会が31基のおりを保有している。おりの数を増やすことが重要なので、獣友会などと相談しながら、捕獲おりの貸し出し数を増やしていく。

森 高齢運転者に対するアクセルとブレーキペダルの踏み間違い防止装置の購入補助はできないか。

市民生活部長 今回の補正予算で購入補助の予算を計上している。詳細については現在検討中ではあるが、年齢65歳以上、補助率3分の2、上限10万円と考えている。

高齢運転者に対する
補助について

高齢運転者に対する
補助について

イノシシ被害は他市との連携を
していきたいと考えている。

倉野嗣雄議員

耕作放棄地の対策について

倉野 農業者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増えている、市の対応を問う。

産業経済部長 市としては、備中町の平川地区、湯野地区に農業団地を造成して新規就農者を呼び込んでいる。今後も各地域で展開していきたいと考えている。

産業経済部長 要望があれば地元へ出向いて十分な説明に努めたいと考えている。

倉野 動農業再生機構の補助や制度が分かりにくく、地権者や地元住民への説明をどのように行うのか。

大雨などにより大きな災害につながると思うが、市の対応を問う。

市長 危険が及びそうな、二次災害が起こりそうな場合には、市へ連絡をしてほしい。市で対応する。

倉野 高梁市だけでなく他の市町村とも連携して国へ対応を求めるべきだ。

市長 全国的な話であり、全国市長会などで取り上げ状況を共有した上で対応していきたい。

道路管理について

道路管理について



イノシシに掘り返されたのり面